



誰もが生涯音楽を  
楽しめるように  
これからお手伝いを  
していきたい。

株式会社鈴木楽器製作所  
鈴木禮子 代表取締役社長



## 創業者の想いが叶えた 「メロディオン」の開発

弊社の代表商品「メロディオン」は国内初の鍵盤ハーモニカとして1961年に誕生し、今年60周年を迎えます。教育用楽器として子どもたちに長年親しまれ、現在ではプロのアーティストからも愛されて、様々な音楽シーンで活躍しています。

私の父である創業者・鈴木萬司がハーモニカ製造を始めた当時、小学校の音楽教育はオルガンやハーモニカが主流でした。ただオルガンは音階学習に最適ですが、児童全員分は用意できず、ハーモニカは手頃ながら音階が指導しづらいという難点がありました。そこでより教材として適した楽器を作ろうと、両方の長所を兼ね備えた鍵盤ハーモニカを開発したのです。さらに子どもたちが演奏しやすいよう、ジャバラ式の唄口<sup>\*1</sup>を開発し、手で持たず卓上でも演奏できるようにしました。

しかし、発売当初は順調とはいかず、販売と普及活動には大変苦労したといいます。その甲斐あって、1967年に文

部省が制定した「教材基準<sup>\*2</sup>」に鍵盤ハーモニカが位置付けられたことを契機に、日本全国に広まりました。

## 音楽を生涯楽しんでもらうため 人々に寄り添い続ける

先代は音楽が人の心を癒やすとの考えから、音楽教育を大切にしてきました。これは弊社が掲げる「音楽で人を幸せに」という言葉にもあるように、人々に寄り添い、楽器製造を通じて音楽に貢献することは、私たちの務めと考えています。そのため弊社では子どもから大人まで、誰もが生涯にわたり音楽を楽しめるよう、様々な取り組みをしています。音で遊べる楽器、学校販売向けの楽器や教材の開発・製造、大正琴の振興活動、オンラインでの楽器レッスン開催のほか、メロディオンを左手で演奏できるように唄口の位置を反対側に変えるといったカスタマイズサービスも行っており、大変喜ばれています。

♪  
Make  
you happy  
with  
music.



## 一流の演奏者をも魅了する 職人の技と情熱

製品作りにおいて、最もこだわっているのは音です。例えばメロディオンは、子ども向けはより簡単に明確な音が出せる工夫をしていますが、大人向けはわずかな吹き方の違いも反映できるテーパーリードを採用し、色々な音階の音が出せるようにしています。また他社にはない、本体カバーに金属や木を用いたモデルも発売し、より豊かで多彩な音色を実現しました。

職人たちが何度も調整を重ねた高精度の楽器が生み出す音色は、多くの一流ミュージシャンからも高い評価を得ています。あらゆる要望にも即座に応える技術力の高さと安定性、何より音作りに対する情熱が認められている証しだと思います。

## 企画から顧客サポートまで 一貫体制が生む強み

きめ細かな対応ができるのは、製品の企画から販売後のサポートまで、自社で管理しているからです。開発・技術・製造・品質管理・営業の5部門を擁し、さらにグループ会社を設立して部品製造から製品の海外輸出も一貫して行っています。部品の金型や生産マシンも自社で設計・製造し、組み立てもすべて国内で行うことで、お客様の声をすぐに商品開発に活かすことができ、高い品質を維持することができるのです。



さらにコロナ禍をきっかけに、オンラインによる社内連絡を増やしたことで、販売と開発の関係が強まりました。販売担当は以前にも増して自信を持って商品をお勧めし、開発はお客様の細かな情報も受け取ることができています。

## 自由な社風が 社員の成長を促す

弊社には、楽器や音楽が好きで応募してきた社員が大勢います。そのためか皆仲が良く、より良い音を作ろうと、気が遠くなるような作業にも熱心に

取り組んでくれています。仕事に対し真摯に向き合うその姿勢には、本当に頭が下がります。

弊社では社員同士の壁を無くし、お互い自由に発言できる環境づくりに努めています。製品開発に不可欠な自由な発想を大切に、社員の自発性と成長を高めるためです。管理職たちも同じ気持ちで、次世代の育成にも励んでくれています。

## 受け継いだ会社と志を 未来へ繋ぐために

私の社長としての使命は、社員たちが安心して安全に働ける環境を作り、受け継いだ会社をこれからも発展させていくことだと考えています。そのためには実績を正しく評価する基準や、社員の声を活かせる体制を整え、SDGs<sup>\*3</sup>に沿った地球環境に優しい製品の開発にも取り組んでいます。

常に新たなことに挑戦し続けるという先代の志を胸に、これから先も社員一丸となって夢のある楽器を生み出し、人々が音楽を楽しめるお手伝いをしていきたいと思っています。

※1 唄口：息を吹き込むパイプ。

※2 教材基準：各学校に基礎的に必要とされる教材の品目と、学校の規模に応じて整備すべき数量を示したもの。

※3 SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2015年の国連サミットで定められた2030年までに達成すべき17の目標。

企業データ



- 会社名 / 株式会社鈴木楽器製作所
  - 代表取締役社長 / 鈴木禮子
  - 所在地 / 静岡県浜松市中区領家2-25-7
  - TEL / 053-461-2325 FAX / 053-463-5858
  - 設立 / 1954年2月
  - 事業内容 / 楽器製造（教育楽器全般・ハーモニカ・大正琴・ Hammondオルガン）、ソフトウェア制作（教則本・楽譜）
- （事業者認定）
- 経済産業省より「地域未来牽引企業」の事業者に選定
  - 経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2019」に認定
- <https://www.suzuki-music.co.jp>